

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点施策一覧

重点施策	事業名	概要	担当課	活動指標	R3目標	R4目標	R5目標	R3実績	R4実績	達成率	R4実施内容	達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策 (対応済の場合も含む)	9期中の方向性	
重点施策 1 介護予防・健康づくりに通じる社会参加 【成果指標】 会・グループへ月1回以上参加している高齢者の割合 (2022年度豊田市高齢者等実態調査) 54.1%	1	高齢者の生きがいづくり支援	市民活躍支援課	活動支援箇所総数(か所)	28	50	50	52	52	104%	2nd LIFE GUIDE BOOKの施設配下及び高齢者に関わるイベント等での配布			継続	
	2	S I Bを活用した社会参加型介護予防事業の展開	未来都市推進課	①参加者総数(人)	2,000	4,000	4,000	1,658	4,152	104%	65歳以上の市内高齢者へ約50種類の社会参加プログラムを提供する			継続	
			未来都市推進課	②継続者総数(人)	-	3,000	3,000	-	1,150	38%	65歳以上の市内高齢者へ約50種類の社会参加プログラムを提供する	継続して1つのプログラムに参加する高齢者が少なかった	継続参加に繋がるよう、プログラムの構成や仕組みを工夫する	継続	
	3	集いの場へのコーディネート強化	地域包括支援センターや交流館窓口における集いの場へのコーディネート	介護保険課、高齢福祉課、地域包括ケア企画課、地域保健課、市民活躍支援課	コーディネート実施箇所総数(か所)	5	25	50	9	42	168%	地域資源マップに掲載する集いの場の数を増加させるとともに、マップを分野ごとに分類するなど、使いやすさを向上させた。	モデル地区に指定した地域包括支援センターに加え、全ての交流館がコーディネートとして取り組んでくれた。	モデル実施であり、取組を市民に周知していなかったこともあり、相談自体が無いコーディネーターも多かった。	継続
	4	リハビリ専門職との連携	福祉用具貸与や住宅改修の点検、地域包括支援センター職員への研修	介護保険課	①リハビリ専門職の関与による住宅改修の点検数(件)	100	100	100	71	87	87%	リハビリ専門職の関与による住宅改修の点検数集計実施		ケアマネジャーへのリハビリ専門職関与に関するPR	継続
				高齢福祉課	②リハビリ専門職による研修の参加者数(人)	28	28	28	29	15	54%	豊田総合療法士育成センターの概要や生活期リハビリでの療法士の役割と連携等について研修会を実施	研修体系の変更による影響		継続
5	住民主体によるボランティア輸送への支援	住民等の主体によるボランティア輸送	介護保険課 福祉総合相談課 高齢福祉課	ボランティア輸送検討地域数(か所)	3	3	3	5	3	100%	検討・運営の支援(高美町) 検討(敷島、平山)		ボランティア輸送への支援を市地域公共交通計画に位置づけ、今後も継続して実施する。	継続	
重点施策 2 地域共生を支える体制整備 【成果指標】 高齢者の介護や福祉の相談窓口の認知度 (2022年度豊田市高齢者等実態調査) 40.9%	1	重層的支援体制の推進	福祉総合相談課	地域づくり支援件数(件)	100	100	100	95	92	92%	福祉の相談窓口や社協CSWによる相談支援、地域支援の創出。とよた参加支援プロジェクトを活用した参加支援の実施			継続	
	2	見守りネットワークの強化	高齢福祉課 福祉総合相談課	高齢者見守りほっとライン協力機関登録件数(件)	2,400	2,450	2,500	2,366	2,418	99%	・スマートフォンを使った見守りに関する実証実験や民間見守りサービスの情報収集など、ICTの導入について検討した。 ・見守りの強化に関して地域会議に諮問し、地域において必要な取組について答申を得た。		・ICTツールを活用した見守りは、導入に至っていないため、引き続き検討を進める必要がある。 ・地域会議から見守り組織間の連携、情報の取扱いなど見守り方法の助言について意見を得た。	見直し	
	3	介護サービス事業所マネジメント層へのキャリアアップ支援	経営者や中核的人材への組織力向上のための研修	介護保険課	キャリアアップ支援研修の参加者数(人)	30	30	30	32	33	110%	介護事業所リーダー職員を対象としたコミュニケーション力向上のための研修を2日間実施			拡充

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点施策一覧

重点施策	事業名	概要	担当課	活動指標	R3目標	R4目標	R5目標	R3実績	R4実績	達成率	R4実施内容	達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策 (対応済の場合も含む)	9期中の方向性
	4 在宅医療と福祉の連携強化	人材確保・育成、負担軽減、拠点整備、普及啓発、多職種連携	地域包括ケア企画課	多職種連携ICT「豊田みよしケアネット」加入率(%)	35	40	50	41.3	44.4	111%	<ul style="list-style-type: none"> 豊田加茂医師会在宅相談ステーションによる在宅医療基盤の強化 豊田地域医療センター整備工事の完了 地域医療人材育成センター(豊田地域医療センター)による訪問看護師・総合療法士の育成 多職種が連携したACP(アドバンス・ケア・プランニング)の推進 豊田みよしケアネットの普及促進 		<ul style="list-style-type: none"> 人材確保・育成【課題】 在宅療養者の多様なニーズに対応する人材の育成 【対応策】 地域医療人材育成センターで育成する人材の整理・検討 ●多職種連携・普及啓発【課題①】 ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の専門職・市民向け周知【①の対応策】 多職種によるACPの研修会開催 わたしのノート(スタート編)の現場活用 出向き講座の開催 【課題②】 豊田みよしケアネットの登録・利用促進 【②の対応策】 豊田みよしケアネットの勉強会開催 	継続
重点施策3 社会全体で取り組む認知症支援 【成果指標】 認知症の人を理解し、協力している市民の割合 (2022年12月時点の認知症に係る各事業による集計) 12.3%	1 認知症サポーターを中心とした支援チームづくり	ニーズに対応した支援チームづくり、チーム結成に向けたステップアップ講座	高齢福祉課	ステップアップ講座受講者数(人)	400	400	400	142	190	48%	認知症サポーターに向けた、実践的な支援方法や地域の実情について学ぶ機会の提供。	新型コロナウイルスの影響による、開催数の減少。	認知症サポーター養成講座を継続的に実施している団体において、サポーターのステップアップが見込める場合でも、定例化している養成講座の実施を希望する場合が多い。講座自体の周知を検討。	継続
	2 認知症の人の社会参加の仕組みづくり	ボランティアや就労等の参加機会の創出	高齢福祉課	社会参加のマッチングを支援した地域包括支援センター数(か所)	5	10	15	7	19	190%	地域包括支援センター職員や関係団体を対象とした交流会の実施と認知症の人の社会参加支援のためのワーキングの実施	経年的な意識醸成と仕組みづくりの効果	(課題解決の仕組みを構築済)	継続
	3 若年性認知症本人・家族会の開催支援	若年性認知症の本人や家族の交流する機会の提供	高齢福祉課	開催回数(回)	12	12	12	7	11	92%	毎月1回、若年性認知症本人とその家族対象とした本人・家族会を開催		認知症介護家族会との明確化や、本人や家族のニーズにあった会となっているかの検討が必要。開催日時を土日にするなど、対応を検討する。	継続
	4 認知症の早期発見	様々な機会を活用した認知症早期発見の啓発	高齢福祉課	チェックリストの配布数(部)	16,000	16,000	16,000	19,656	17,849	112%	介護保険被保険者証の交付時、認知症サポーター養成講座受講者への周辺の人への実施動奨時等におけるチェックリストの配布。		デジタルツールを活用したチェックリストの配布数が少ないため、対応を検討する。	継続